



2008同窓会 <南翔> の集い

南翔

秋田県立秋田南高等学校 同窓会会報

「南翔」 第四十九号

題字揮毫

第十一代校長

松本 健 先生



「独立自尊」の意味するもの

秋田南高等学校 教頭 安藤 巳智子

今年四月に、

前任の大澤博一・

船木文子教頭に

代わって、田中

道夫教頭とともに

に赴任しました

安藤巳智子です。

同窓会の皆様には、常日頃母校への熱い思いと日々の教育活動への温かなご支援をお届けいただき、心から感謝申し上げます。

本校はこれまで、生徒職員が一丸となって生徒個々の進路実現に取り組み、県内屈指の進学校としての実績を積んでまいりました。現在も、高い志とそれを支える日常の学校生活が志望達成の実となることを確認し合い、指導にあたっているところです。

部活動におきましても、この夏はアーチェリー、剣道、テニス、水泳でインターハイ出場を果たしました。また、硬式野球では春季大会から甲子園予選まで皆様の多大な応援をいただき、夢の実現に向けて手応えを得ることができました。運動部のみならず、吹奏楽の全国大会出場、文芸の高校総合文化祭出場など、文化部でもそれぞれの活動が全国レベルで高く評価されております。

さて、このような活動の礎としてあるのが、創立以来本校教育の拠り所であり平成四年に校訓と定められた「独立自尊」の精神である

と考えております。校訓の由来は生徒手帳にも掲載されており、「学問を通しての独立心と自尊心の涵養を促す」福沢翁の言葉として知られているものですが、本校勤務のこの数ヶ月を経て、改めてその意味するところをしみしめております。すなわち、「独立自尊」の大前提として「学ぶ」ということがあり、南高生は、在学中の学習や部活動等での「学び」を通して、自分の足で立ち自身の尊厳を保つことの大切さを知るのだということです。そして、学舎をともしする仲間もまた同様であることに思いを至すということだと思えます。学ぶということが、単なる知識の受け渡しではなく、まさに生きて働く力として位置付けられていることを、私どもは肝に銘じなければならぬと考えているところです。

本校は、平成二十四年に創立五十周年という大きな節目を迎えますが、これまで先人が築き上げてきた秋田南高校の集大成が求められることになると思います。創立当時を知る同窓の方々が社会の重鎮として多数活躍しておられ、次代を担う後輩に継ぐべきものを直接伝えていただける環境にありますのは幸いです。同窓会の幾多の財産を、大いに活用させていただきたいと思っております。

今後ともこれまで以上に母校へのエール・ご支援をよろしく願いたします。

母校だより

運動部活動

●硬式野球

春季高校野球県大会

準優勝

春季東北地区野球大会

2回戦敗退

全国高等学校野球選手権大会 秋田県大会

準々決勝敗退

●全県高校総体

陸上

走り高跳び2位 加茂隆太

女子 1500M5位 杉沼紀子

サッカー ベスト8

●水泳

男子 200M自由形 8位 森川 千滉

400M自由形 8位 山城 祐矢

100M平泳ぎ 8位 藤田 湖南

個人メドレー 5位 森川 千滉

女子 100M背泳ぎ 1位 久保木 怜

200M背泳ぎ 4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

1位 久保木 怜

4位 佐藤佳奈子

●東北高校選手権

●水泳

女子

100M背泳ぎ 2位 久保木 怜

200M背泳ぎ 1位 久保木 怜

男子 3位 斎藤 諒

個人予選2位通過 鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

鈴木 優香

最近3ヶ年の進学状況

校種名	2006年		2007年		2008年	
	合格	進学	合格	進学	合格	進学
大学	192	184	147	138	171	161
短大	202	72	270	101	272	98
国公立	1	1	2	2	1	1
私立	13	11	12	7	13	6
専門・各種	10	6	15	12	14	7

*管外=防衛大学

進学状況

■平成二十年主な進学先

国公立大(161人) 北海道大 5/弘前大 8/岩手大 12/東北大 4/宮城教育大 3/秋田大 53/山形大 4/福島大 4/茨城大 4/筑波大 3/宇都宮大 5/千葉大 3/東京大 1/東京学芸大 4/横浜国立大 6/新潟大 12/秋田県立大 4/国際教養大 4/防衛大 1他

私立大(98) 東北薬大 3/東北福祉大 2/獨協大 3/文教大 3/青山学院大 3/国学院大 2/国士館大 2/芝浦工大 3/専修大 2/中央大 2/津田塾大 2/東洋大 3/明治大 2/明治薬大 2/立教大 2/早稲田大 6/学習院女子大 2/神奈川大 4/同志社大 2他

短大(7) 聖園学園短大 1/日赤秋田短大 4他

夏を振り返る

野球観戦記

第13期 吉田 一生

今年は春の東北大会に20年ぶりに出場した。おかげ様で山形に宿泊し応援することができた。今年のチームは例年に比べ投打とも充実しバランスが取れていたと思う。

夏の予選では3回戦の金農戦(前年優勝校)が決勝進出までの最大のヤマ場であることは誰もが思っていた。試合は母校野球部歴史に残るであろう、9回逆転サヨナラ勝ちであった。勝利の瞬間歓喜で涙したのは私だけではない。

ずだ。

次の準々決勝以降はチームの状態、勢いで誰もが6年ぶりの決勝進出を思い描いたことと思う。「そして悲願の甲子園初出場」を・・・

昨年も書いたが、決して力がないチームではない。むしろ今年は、他校からマークされるぐらいであった。何かが足りない。それは何なのか！

母校野球部は全県一の部員数を誇る。ベンチに入れなかった何人もの3年生は裏方に徹し、常に仲間の勝利を信じ祈りスタンドから必死に応援し続けた。

その憧れの球場でプレーをしていた選手は、その思いのたけにどれだけ応える事ができたのだろうか・・・!!



恩師は今

野球部の甲子園初出場に向けて、元野球部監督（昭和五二年から六一年の十年間）から、現在の監督、部員全員に向けて熱いメッセージをいただきました。

「三度目の王手を託す」

元野球部監督

赤沼 新一



北京五輪も第九十回全国高校野球大会も終了した。秋虫の声を聞きながら、静かに生活を送っている。北京には行けなかったが、本荘高校を応援に甲子園に行ってきた。今年の大阪も評判通りの暑さであった。サウナ風呂に入りながら太陽に照らされている状態

況だった。退職して二年目を迎えているが、暑さを強烈に感じているのは歳の所為かも知れない。十一年ぶりの初戦突破を期待しながら応援していたが、九回表に逆転しながらも、その裏に再逆転され、四対三で敗れてしまった。本荘の池田投手は、一六九センチ六五キロの体格ながらも一七九球を投げきり、限界の限りを尽くしていた。逆転打を打った二塁打も体力消耗の原因となっていた。「ご苦労さん。よく頑張ったぞ」と声を掛けて甲子園を後にした。阪神電車に揺られながらずーっと考えていたが、「もし」秋田南高校が出場していたらどんな展開を観せてくれたらだろうか。

しかし、これで秋田県は十一年連続初戦突破できずに終了した。ここで考えてもらいたいことがある。初戦突破と南高校の初出場できない原因が非常に似ているということだ。甲子園に出場したいという気持ちが強すぎて（他の高校も全て同じ）甲子園でどう戦ったら勝てるのかを疎かにしている感が強い。「何が何でも・・・」や「絶対・・・」等の気持ちは非常に尊い。し



教え子達と楽しいゴルフ

かしこの言葉の裏には、自己弁護の言い訳が隠されている。こんなに頑張ったのに出来なかったという意味だ。「こんなに」の思いのレベルの範囲が広過ぎるのだ。何が何でもの思いで、頑張ったけどなあ・・・ではどうすればいいのか、甲子園で通用するプレーを監督以下選手全員で研究錬磨しなければいけないということだ。監督からの指示待ちではロボットそのものとなり、若者の最高の根っ子となる力をもぎ取る事になる。自ら求める精神で掴んだ「技」は、チーム全体の中で発表し合える、これが研究錬磨だ。甲子園球場でのプレーとしてのイメージトレーニングにもなる。具体的に言えば、今の俺の面は通用するか？今の動きはど

うだ？ランニングの仕方は？声は届くか？エトセトラだ。全てのプレーが通用するか否かで、錬研すれば、苦しくても楽しくてしょうがないはずだ。本番を迎えるための舞台稽古をしている様なものだ。しかし、今まで述べてきた甲子園で通用するかの錬研プレーはグラウンドに来て、急に出来るものではない。一球一丸で取り組めるチームメートの協力が不可欠だ。本気モードの集団が必要なのだ。そうすれば「何が何でも・・・」とかより、具体的に「どうだ」と磨き競い合うチームになっていくはずだ。グラウンドでその気になる為には、家庭での生活、授業時間での生活、そして部活での生活が延長線上でなければいけないという事だ。生活とは生命を活かすと書き、その人間をどう活かすかにあるのだ。一日を大切にすること、ということは、このような生活を意味する。

最後になるが、今年度の全県中学校野球大会に於いて、羽城中学校が優勝したが、監督鈴木憲一氏（南高校18期卒）は、「野球以前に生活面を重視して指導してきた」とコメントしていた。以前に岸本憲

平監督（同じく南高校18期卒）も羽城中学校で全県優勝しているが、「挨拶、礼儀、清掃等の、野球部員である前に羽城中生としてしっかりとした生活をしなさい、と指導して優勝しました。」と言っていたのが私の記憶に残っている。先輩が中学校ではあるが、全県制覇しているのだ。高校でも出来ないはずがない。野中監督、私は一九期と二三期と二度甲子園に王手をかけたが、叶わなかった。しかし全国レベルのチームではあった。三度目を託す。あの二度目の悔しさは、十分身に染みているはずだ。甲子園での錬研イメージをトレーニングすれば、秋田県で俺たちが甲子園に行かないで誰が行くんだという事になる。初出場のプレッシャーなど糞食らえだ。「仰ぎ見る・・・」の校歌を甲子園のホームプレートで選手達に声高らかに歌わせてみる。覚悟すれば出来ることだ。



南翔の集い

式次第

- 1、開会
- 2、同窓会会長挨拶
- 3、学校長挨拶
- 4、御来賓紹介
- 5、実行委員長挨拶および乾杯
- 6、甲子園倶楽部案内
- 7、恩師によるギター演奏
- 8、各期の卒業時の出来事
- 9、幹事引き継ぎ式
- 10、校歌斉唱
- 11、エール
- 12、中締め
- 13、閉会



中川 信行先生

吉田一生同窓会会長(13・F)
秋田県立秋田南高等学校校長 米田 進 様

同窓会では、4年後に迎える母校創立50周年記念に向け、母校に対してより一層の支援を図ると共に、母校の発展・躍進に貢献したいと考えております。

しかしながら、同窓会の基盤となる総会への出席者が毎年少ないことから、活性化を図るため、今年度から総会の開催方法を見直したものです。

具体的には、本年度については、総会開催日をこれまでの5月から8月に変更することとし、昨年度決算、本年度事業計画(案)等は、事業年度の区切りをつけるため、5月に臨時総会を開催し予め承認いただきました。

また、総会の開催にあたっては、今年度は1期、11期、21期、31期、翌年度は2期、12期、22期、32期という具合に各期の実行委員が準備から開催・運営を行うこととしました。総会の名称も「南翔の集い」とし、堅苦しいイメージを取り払っております。

今後、多くの会員が気軽に総会場に集い、親睦を深めることにより、年代を越えた大きな同窓の輪が生まれ、これが母校を支えていく大きな力となっていくものと期待しております。



校歌熱唱



スナップ



恩師中川先生のギター演奏



日本エアーサービス株式会社
国土交通大臣登録旅行業第644号・日本旅行業協会会員

所長 小笠原 和 則
19期E組 卒

秋田営業所
秋田市山王二丁目1-60アイデックスビル
TEL 823-6000 FAX 823-6100
本社(東京): (03)3496-7711(代)



高精度、高強度、高耐久

ストロングホーム

ふれあう心で家づくり

株式会社 吉兆ホーム

代表取締役 吉田 一生 (13・F)

秋田市泉北3丁目4-5
TEL (018) 866-9280
FAX (018) 866-9316

総合保険代理店 **RISE Co., Ltd**

保険のご相談なんでも承ります。
情報提供が仕事です。

株式会社 **ライズ**

代表取締役 清水 毅彦 19期D組 卒

〒010-0954 秋田市山王沼田町1-15
山王オフィスビル202
TEL 018-824-6171
TEL 018-824-6172

1期

1期生 田口 覚

同窓会活性化のため役員諸氏が発案した「南翔の集い」は、何ともユニークな集いとなりました。

幹事期と指定されたので主に市内在住者に声をかけ、男鹿市組を含め30名の参加にこぎつけました。さらに1期時代の恩師として中沢一男・岸信夫・田村宏・芋田匡・宮本栄・三浦順治の各先生がご臨席、3年前の還暦の会以来ではあったが、わが同輩より元気なお姿を拝見、確認できたことが嬉しかった。

実行委員長として指名されたが、都合があり遅れるので石山博茂氏に乾杯及び代行のあいさつをお願いし、宴会がスタートしました。

会場は、まさに老若男女、多士多才：失礼ではあるが、親子（1期から31期まで）と祖父（恩師？）のいわゆる身内一族の宴席の雰囲気で大いに盛り上がりおりました。中締めの前段で、2期大久保氏に次年度委員長の「引き継ぎ」をしてお役ご免となり、二次会は「本日貸切と：」の貼紙店、お馴染み山王NKビル「JOY」に20名が集合、臨時1期会に変容し、この絆が長く続くことを念じながら、また来年誘い合うことを約束し、24時には解散したのであります。



元応援団長のエール



今回幹事1期から来年幹事の2期、12期へ引継ぎ



実行委員長 1期田口氏の挨拶

21期

幹事期の責任と21期生を
まとめるにあたり

21期生 貝沼 清

「これは無理かもしれない」7月10日木曜日、最初の打ち合わせが終わった後、21期のまとめ役3人が感じた共通の感想が全てのはじまりでした。課せられた課題をクリアする時間は短く、基盤となる同期の繋がりが皆無の状態だったからです。

そのような中で自分たちができる事を整理した結果は、『それぞれ連絡がつく同期生をビックアップし電話にて連絡する。連絡先にてキーマンをつくりそこでまた数人に連絡してもらおう。考えるよりも行動する。非常に原始的で非効率な方法ではありますが、限られた時間の中で確実に人を集めるための苦肉の策でした。しかし、電話での呼びかけは、反応がダイレクトであり、同窓会の思いを伝える点では効果的でした。反面、同期全員に連絡がいったわけではなく、その点はお詫びしなければいけないと反省しています。

今回の成功は、数年後にも同じ方式で受け継がれていった時にはじめて評価されるので、次幹事の皆様には更なるご奮闘をご期待します。



各期の卒業時の思い出をプロジェクターで



スナップ



幹事21期生と来賓

税務のご相談は……

宇佐見康伸税理士事務所

税理士 宇佐見 康伸 (4・A)

事務所／秋田市中通五丁目 6-33

☎018-832-8045

人事・賃金・社内諸規程
労働・社会保険等の労務全般

渡辺博人 社会保険
労務士事務所

社会保険労務士 渡辺博人 (12・F)

秋田市桜ガ丘二丁目 4-9

TEL 018-831-5280

FAX 018-831-5287



ソフトウェアの受託開発
ホームページ作成

株式会社 エイチ・アイ・ティ
Human Interface Technology

代表取締役 川合 俊昭 5期E組卒
システム部長 安部 雅彦 21期D組卒

〒010-1623 秋田市新屋町砂奴寄4-11
秋田県工業技術センター内
TEL 018-895-5515 FAX 018-895-5516

秋田市中通六丁目4-21
☎018(833)2220(代) FAX(833)6732